

学校教育目標

「夢・志の実現 一步前へ！」

～地域を愛し 志をもち グローバル社会を生き抜く児童生徒の育成～

（文責）
畑野

ご卒業おめでとうございます！

～ありがとう9年生～

「継続は、力なり」



飛立愛 校訓
躍志郷
国東市立志成学園
2021年3月5日

■3月5日(金)に9年生34名が、新設の義務教育学校「志成学園」の第1期生として卒業していきました。卒業式での姿は、すがすがしい堂々とした態度でした。

■卒業生は、武蔵中学校に入学して2年、志成学園になってから1年、本校で中学校生活を送ってきました。その中で学校が終わるといふ「閉校」や学校の始まりである「開校」といふ学校として大きな節目の年を一緒に過ごしてきました。その中でさみしさや希望も感じながら生活してきたと思います。

■しかしながら、新型コロナウイルス拡散の影響で、閉校式に参加することができなかったことは残念なことでありました。開校式には、来賓の方々の参加はありませんでしたが、1から9年生の全員で参加し、その代表の学年としての姿を見せてくれました。特に言いたいのは、その期間の工事の中、グラウンドが使えなくなったり、駐輪場が使えなくなったり、工事の騒音がうるさかったりと大変な時期がありましたが、それでも真面目に、誠実に学習や生活に向き合い、学校生活をおろそかにすることなく取り組んでくれました。まさに学校のリーダーとしての姿を見せてくれました。本当に頭の下がる思いでした。

■志成学園の初めての卒業式が行われました。それまでに9年生とのお別れ会や式の準備をそれぞれの学年がしてくれました。その姿や時々のことばを聞いていると、私たちも知らない9年生の積み上げてきたものがよく伝わりました。また、在校生が、今度は自分たちが頑張っていくという心意気も感じました。この時期は、それぞれの子どもの成長した姿をよく感じます。

■9年生になってからは、新しい学校となり、これまでと違い1年生から6年生という通常なら小学校の子どもたちのリーダーとしての姿も見せなければならなくなりました。初めて行った全校レクは、小さい子どもたちをうまくまとめることができませんでした。しかし、その経験もあって、その後の体育大会では、見事に全校の児童生徒をまとめた体育大会を創造してくれました。全校練習で優しく教え導く姿が印象的でした。

■文化祭も大きな行事でした。これまでの中学生が行う行事ではなく、5年生以上で行う形にも挑戦しました。そこでも合唱の姿、自作の劇での表現、実行委員会を中心にした会の運営等リーダーとしての姿を見せてくれました。見学に来た4年生が「先輩たちは、すごい！」と感想を言ってくれました。また、その姿に憧れ、学習発表会では4年生も自作の劇に挑戦しました。どちらの行事も志成学園として新しい形づくりをしてくれ、本当にいいスタートが切れたと感謝しています。

■コロナ禍で、中体連の県大会が中止されたり、修学旅行が変更されたり、想像することができないことが多々起きましたが、そのような中でも自主的に修学旅行の内容を計画したり自ら喜びを見出していった姿にも、感謝しています。

■何といたっても前期「進歩」後期「和衷共同」の児童生徒会スローガンのもと、みんなで新しい学校づくりをしようと取り組んでくれたこと、「当たり前のことを、当たり前やろう！」と「あいさつ」「無言清掃」「2分前着席」「トイレのスリッパそろえ」「自力登校」等々、日常生活の中で後輩たちへのよい見本を示してくれたことが一番でした。

■本当にありがとう9年生！あなたたちがいて、今年開校した「志成学園」のスタートが切れました。残された後輩たちと先生方でさらによい学校へしていこうと考えています。

